

## 平成20年度 事業評価書

|           |                          |      |       |      |       |
|-----------|--------------------------|------|-------|------|-------|
| 地名        | 島根県出雲市                   | 選定年度 | H16年度 | 事業規模 | 小規模事業 |
| まちづくり協議会名 | 出雲市環境と経済の好循環のまちづくり協議会    |      |       |      |       |
| モデル事業名    | 森林環境再生起源事業～地球環境の再生を出雲から～ |      |       |      |       |

### 1. 事業の実施状況

|      |       |       |   |  |
|------|-------|-------|---|--|
| 委託事業 | 事業期間  | H16年度 | 普及啓発事業として、地球温暖化防止のための研修会等を実施した。   |  |
|      |       | H17年度 | 普及啓発事業として、新エネルギーの啓発イベント、自然体験教室等を開催。また、木質バイオマスガス化発電設備に関連し、バイオマス利用・啓発キャンペーン事業を実施した。       |  |
|      |       | H18年度 | 18年度事業繰越のため、委託事業は実施していない。   |  |
|      | 事業完了後 | H19年度 | 事業完了後であり、事業は実施していない。尚、市民を含め、本事業で整備したバイオマスプラントに関心のある方々の見学等は随時受入れ、説明等を実施。(ヒアリングによる聞き取り結果) |  |
|      |       | H20年度 | 事業完了後であり、事業は実施していない。尚、市民を含め、本事業で整備したバイオマスプラントに関心のある方々の見学等は随時受入れ、説明等を実施。(ヒアリングによる聞き取り結果) |  |
|      | 交付金事業 | 事業期間  | H16年度   | 木質バイオマスガス化発電設備整備事業として、木質バイオマスガス化発電設備の第1期工事を実施。                                   |
|      |       |       | H17年度   | 木質バイオマスガス化発電設備整備事業として、木質バイオマスガス化発電設備の第2期工事を実施。                                   |
|      |       |       | H18年度   | 木質バイオマスガス化発電設備整備事業として、木質バイオマスガス化発電設備の第3期工事を予定していたが、平成19年度に繰越。                    |
|      |       | 事業完了後 | H19年度   | 事業完了後であり、事業は実施していない。尚、平成18年度に実施予定であった木質バイオマスガス化発電設備のガスエンジンの搬入及び据付工事は、本年度に繰り越された。 |
|      |       |       | H20年度   | 事業完了後であり、事業は実施していない。   |

### 2. 評価・分析

|                           |  |     |                                 |
|---------------------------|--|-----|---------------------------------|
| ①事業の特色・モデル性               | <p>木質バイオマスガス化発電設備を整備し、その原料となる木質バイオマスは市民による持ち込みを計画するなど、地域ぐるみの取組を目指しており、今後の事業の進展に期待したい。</p> <p>新エネルギー導入をめざす21世紀の地域戦略の中で、木質バイオマスガス化発電の施設設置と市民啓発を明確に位置づけており、継続的発展を期待する。</p> <p>ソフト事業については、イベントに偏りすぎているため、普及啓発の方法を工夫されたい。</p>   |     |                                 |
| ②環境保全効果<br>(二酸化炭素排出削減効果等) | 二酸化炭素排出削減効果  | 備 考 |                                 |
|                           | 目標値  | -   | H16年度、H17年度、H18年度、H19年度事業分      |
|                           | 実績値  | -   | H16年度、H17年度、H18年度整備施設のH20年度稼働実績 |
|                           | (目標値・実績値単位:t-CO2/年)  |     |                                 |
| ③経済活性化効果                  | <p>・木質バイオマスガス化発電設備<br/>本年度は、当初から本格稼働に向けての準備を開始したが、試運転時において、部品や計器の損傷等が発生し、また、発電量目標を達成するにあたって追加が必要となる検討事項が判明したため、全体試運転が10月に食い込むなど事業に遅れが生じた。さらに、この試運転でガスエンジン不調の問題が生じ、設計値に届かない結果となったため、調整を経て、平成21年3月に再度試運転を行った。その結果、これまでの課題は解決していたものの、長期連続運転を行うにあたっては、機械的およびプロセス的な課題が残っており、対処する必要があるため全く機能していない。</p> |     |                                 |
|                           | <p>・木質バイオマスガス化発電設備<br/>全く機能していない。平成21年度以降、本格稼働することにより、売電等による経済活性化効果が見込まれる。</p>   |     |                                 |
| ④その他                      | ハードとソフトが連携するシステムづくりに向け、設備を改修し自主事業を再開する必要がある。それが困難な場合、事業費返還も視野に検討する必要がある。   |     |                                 |